

町長の公約である一期目の大崎スーパースタジアム・武道城構想は

努力したが実現できなかつた



高野 初雄 議員

平成13年12月に行なわれた町長選挙の選挙公約の中で、町長は公約の一番はじめに、大崎スーパースタジアム・大崎武道城構想を示され、私も町長の公約には大賛成であった。一般質問で町長は建設場所・用地取得については、ふれあいの里公園付近から国有林を考えており、工事期間は17年度着工、18年度を完成目標年度計画であると答えている。公約は実行するのが町長の使命である。大崎スーパースタジアム・大崎武道城構想はどうなっているのか。

実現できなかつた

町長

国の三位一体改革、交付税の減少等の他、文部科学省にも行きいろいろと行動もしたが、最終的には国の補助事業という認可が得られず実現できなかった。

町民への説明は

高野議員

選挙公約は有権者に対する約束であり、普通の人には約束を守りたくても守れない状況になった時、こういう理由で守れなくなりましと説明をし理解を求め、謝るのが普通の人だと思う。町長の場合、公約を掲げ、当選され5年経った今、守れな

反省している

町長

大変厳しい指摘を受け私としては心苦しく思っている。スーパースタジアム・武道城構想が実現できなかったことに対し申し訳なく反省している。

一期目の公約 合併推進は

高野議員

平成17年12月の選挙において、今まで単独を推進していた町長が合併をもと6268票を獲得して当選し、町長として二

取り組んでいない

町長

期目の船出をしたわけである。昨年11月に合併に関する住民アンケート調査を実施し議会においても、合併問題についてはアンケート調査の結果を踏まえ、志布志市との合併についての話し合いがなされたと思っているが、その後、町長は合併問題についてどのような取り組みをしたか。

現在までの取り組みは表立って取り組んでいない。3月29日に初めて町長と議長で志布志市に行き、現段階ではアンケート調査の結果等詳細に説明し、協力とご理解をいただきたいと思っている。

責務である

高野議員

18年の12月議会において、議会では志布志市との合併を推進する決議を

相手の受入れ 状況による

町長

思いはあっても相手があることであり、関係の方々の意見を聞きながら差し控えたところである。その点をご理解願いたい。

引き延ばしでは

高野議員

現在の町長の姿勢を見ていると、町長は新合併法の平成22年の3月末のぎりぎりまで合併を引き延ばす魂胆ではないかと思うがどうか。

頑張る

町長

厳しくもあり、励ましもあり、真摯に受けとめ一生懸命頑張る。

退職金について

高野議員

大崎町の特別職の退職金について、一期4年間、町長1544万円、助役689万円、教育長595万円、三役分合計2828万円であり、各自治体においては厳しい財政状況が続く中と特別職の退職金の半減、または見直し等の条例案が提出されているということが、新聞、テレビ等で報じられているが、町長はこのことについてどのように考えているか。

困難である

町長

今はどこの自治体も行政改革に取り組み、見直しの行われた自治体は退職手当組合に加入していない自治体であり、本町は市町村退職手当組合に加入しているため、本町独自の見直しは困難である。